### 別添4

1/3

### <地域公共交通計画の評価等結果の様式>

清須市地域公共交通計画の評価等結果(令和3年4月~令和4年3月)

	目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
あしがるバスを核 とした移動利便性 の向上	・収支率:11.0%(H30)→8.9%(R6) ・年間利用者数:69.986人(H30)→101,100人(R6) ・1 便あたりの利用者数:5.6人(H30)→6.5人(R6) (《令和3年度目標値》 ・収支率:8.9% ・年間利用者数:89,300人 ・1 便あたりの利用者数:5.7人	あしがるバスの運行	実績報告	・収支率:7.7% ・年間利用者数:70,263人 ・1便当引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大による外出自粛等の影響のため利用者数は目標値を下回った。 ・原油価格の高騰により燃料油脂費が増加している一方で、あしがるバスの下げ止まってかることから収支率も目標値を下回った。	令和4年10月1日施行のルート・ダイヤ改正に向けて、より便利で利用しやすいルート・ダイヤ改イヤになるよう意見シート等を活用しながら協議を重ね、改正案を決定した。 今後は、円滑にルート・ダイヤ改正が実施できるよう準備を進めるとともに、利用促進施策の実施により新ルート・ダイヤの周知を図り、利用者数の増加を目指す。	平成30年10月の路線増加に 伴い、収支率の目標値が減 少している。
	あしがるバスを利用したことがある人の割合:16.0% (H30) → 基準値より上昇(R5) (《令和3年度目標値》 ・基準値より上昇	利用促進活動	市民満足度調査	・18.0% ・コロナ禍で利用促進活動が十分にできていないが、ワクチン接種会場までの移動手段として、あしがるバスを初めて利用する方が一定数いたこともあり基準値より上昇した。	新型コロナウイルスの影響で利用促進活動が思うようにできない状況の中、高齢者運転免許証自主返納推進事業や感染防止対策の周知等、コロナ禍でもできる取組を進めてきた。その結果、今年度の目標は達成し、今後は、積極的に利用促進活動を実施できるよう努めていく。	市民満足度調査(数年ごとに 実施)の結果により測定する ものである。
	鉄道との乗継を考慮したあしがるバスのルート設定	あしがるバスのルート・ダイ ヤ最適化	ルート・ダイヤ最 適化に向けた進捗 状況より	・次期改正に向け協議・決定・令和4年10月のルート・ダイヤ改正に向け協議を重ね改正案が決定している。	市内に複数ある鉄道駅へのあしがるバスの乗り入れを継続して実施しつつ、ルート・ダイヤの見直しに向けた次期ルート・ダイヤ改正案を協議し、決定した。改正後も利用者の声を着目しながら調査・研究を進める。	
鉄道・バスを利用 できない障害者・ 要介護者等を対象	タクシー料金助成制度の継続実施	タクシー料金助成制度の実施	担当課へ聞き取り	<ul><li>・制度に基づき実施</li><li>・問題なく実施できている。</li></ul>	障害者に対するタクシー料金助成制度を実施し、福祉の推進、外出機会の確保・増加を図った。 障害者や要介護者等に対する安全・安心な輸	
要介護有等を対象 とした移動手段 (STS)の確保	福祉有償運送制度の継続実施	福祉有償運送制度の適切な運 用		・制度に基づき実施 ・問題なく実施できている。	送サービスを確保するため、福祉有償運送制度 の適切な運用を図り、現在は3法人により行わ れている。 引き続き、両制度とも継続実施を目指す。	
市内観光施設を巡る移動手段の確保	レンタサイクルの利用者数(年間):77人(H30)→150人 (R6)	レンタサイクル事業の実施		・159人 ・4月から6月までの気候の良い時期に 新型コロナウイルス感染症の感染が落 ち着いたため、利用者が伸び目標が達 成できた。	観光に特化した事業としてレンタサイクルの 認知度を高めていくため、今後も観光誘客の促進と合わせた事業の周知に努める。	

### (記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月~○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

	目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
	あしがるパス利用促進イベント等の開催回数:2回 (H30)→1回以上(R6)	あしがるバス利用促進イベン ト等の開催	各イベント等の記 録データより	・0回 ・新型コロナウイルス感染症の影響に より、予定していた利用促進イベント 等は全て中止となった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度のイベント等は全て中止となった。イベント等は、多くの新規和胃者が見込まれるイベントであるため、新型コロナウイルスの影響も勘案しつつ、ルート・ダイヤ改正のPRを含めた実施可能な利用促進方法を検討する。また、名古屋タクシー協会からの情報提供を受け、市ホームページにタクシーにおける新型コロナウイルス感染防止対策を紹介するページを引き続き掲載した。	
地域公共交通に関 する積極的な情報 発信	あしがるバス一日無料デーの参加者数:383人(H30)→400人程度(R6)	あしがるバス一日無料デーの 実施		・無料デー中止 ・新型コロナウイルス感染症の影響に より、予定していた一日無料デーは中 止となった。		
	コミュニティバス乗り方教室の開催回数:2回(H30)→1 回以上(R6)	コミュニティバス乗り方教室 の実施		・0回 ・新型コロナウイルス感染症の影響に より、予定していたコミュニティバス 乗り方教室は全て中止となった。		
	タクシーに関する情報発信	タクシーに関する情報発信	市ホームページよ り	・引き続き実施 ・タクシーにおける新型コロナウイル ス感染防止対策の取組を周知した。		
地域公共交通サー	バスロケーションシステムの運用	バスロケーションシステムの 周知	バスロケーション システムサイトよ り	・計画通り運用 ・問題なく運用できている。	バスロケーションシステムを運用し、バスの 運行状況を発信するとともに、お知らせ欄を通 じた臨時の迂回運行等の周知にも活用してい る。また、問い合わせ対応時には周知し、当シ ステムの活用を促している。今後も継続して運 用していく。 次期ルート・ダイヤ改正に合わせたバス情報 のオープンデータ化に向けた調査・研究を進め ている。引き続き、オープンデータ化に向け調 査・研究を進めていく。	
ビスの充実	バス情報のオープンデータ化	バス情報のオープンデータ化 の推進	オープンデータ化 に向けた進捗状況 より	・次期改正に向け調査・研究 ・令和4年10月のルート・ダイヤ改正に 向け順調に調査・研究できている。		
安心・安全かつ円 滑・快適に利用で きる駅前環境の整 備	自転車等放置禁止区域の見回りの実施	自転車等駐車対策事業	担当課へ聞き取り	・計画通り実施 ・問題なく実施できている。	定期的に自転車等放置禁止区域の見回りを実施し、自転車の放置防止に関する啓発に努めいる。 清洲駅前土地区画整理事業では、区画道路の道水路築造、埋蔵文化財調査及び移転補償を行った。 新清洲駅北土地区画整理事業では、前年度から引き続き建物等の移転補償を進め、併せて雨水排水路、上下水道、ガス等の整備を行い、道路の築造を実施した。また、県道(新清洲駅前北線)の工事に着手し、令和4年度の供用開始に向けて工事を進めた。 各事業とも、継続して実施していく。	
	・土地区画整理事業の推進(JR清洲駅) ・土地区画整理事業の推進(名鉄新清洲駅)	駅前の土地区画整理事業		・計画通り実施 ・問題なく実施できている。		

# (記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月~○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

# 清須市地域公共交通計画の評価等結果(令和3年4月~令和4年3月)

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
市民・交通事業 者・行政の協議の 場づくり	・地域公共交通会議の開催回数:3回(H30)→3回以上 (R6) ・地域公共交通会議での市民委員の参加			や利用者の意見を取り入れるため、市	地域公共交通会議を4回(うち1回は市民委員のみで構成される専門部会)開催し、次期ルート・ダイヤ改正に向けた協議を中心に、市民、交通事業者、関係団体との協議を行った。今後も、清須市地域公共交通計画に基づき、適切に会議を開催し、地域公共交通の推進を図る。	
市民ニーズの把握	市民アンケート調査等の実施	-	-	-	_	ルート・ダイヤ改正や地域 公共交通計画の見直しのた めに適宜実施するものであ る。2年度はルート・ダイヤ 改正に向けて実施し、次回 は、令和5年度に地域公共交 通計画の見直しに向けて実 施する予定である。

# (記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月~○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果 (議事録等) 等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

3/3